

今後の会議の進め方について

1 地域交通ビジョン推進に係る主な課題

【域内交通】

- 地域交通計画未策定団体における計画策定の検討
- バス路線の必要な見直しの推進（利便性と効率性の観点から、持続可能なバス路線へ）
- 公共交通空白地域の解消に向けた、地域の実情に応じた生活交通サービスの提供等

【域間交通】

- 交通事業者間の連携による公共交通機関相互の接続（乗継）利便性の向上
- 等時隔ダイヤの実現、交通結節点の機能強化、パーク＆ライド駐車場等の整備推進等

【広域交通】

- 新幹線駅や空港を起点とした広域的な交通ネットワークの更なる充実
- 個人旅行者が地域交通を利用しやすい交通情報等提供の充実（多言語対応の案内標記など）

【交通環境の整備】

- ノンステップバス等の導入促進、バスロケーションシステム等による運行情報の提供拡大
- 駅のバリアフリー化に必要な国の補助要件の緩和の働きかけ
- 持続可能な地域交通を実現するため、投資の効率性や採算性等にも留意した整備の推進

【関係者間の連携による取組みの推進】

- 県民の地域交通の利用促進に向けた効果的な啓発活動の推進
- バス運転手など交通サービスの担い手の確保

2 今後の進め方（案）

（1）地域交通ビジョンのフォローアップ

- ・引き続き、ビジョンに記載した各取組みについて実施状況等を確認し、課題等について協議するとともに、必要に応じて、新たに取り組む施策の検討や目標の見直し等について協議する。

（2）小委員会設置による特定テーマを対象とした協議

- ・公共交通機関の利便性向上や効率性・採算性等の観点から対応が必要と考えられる課題のうち、関係者が連携協力して取り組むことが望ましいものについて、関係者が問題点や課題を共有し、対応方針等を協議する場として、本会議の下に小委員会を設置してはどうか。
- ・平成29年度は、上記1で整理した課題の中から「**交通機関相互の乗継利便性の向上**」と「**持続可能な地域公共交通の確立**」をテーマに検討を進めてはどうか。

（理由） ・「県地域交通利用状況調査」（H27）における利用者アンケートでは、地域交通に対する改善点として、乗継に関する意見が多くみられたこと

・本県には多くの鉄軌道のほか、民営バスや各市町のコミュニティバス等が存在し、利用者は異なる交通機関を乗り継いで移動するケースも多いことから、乗継利便性の向上が地域交通の利用促進に寄与すると考えられること。

・バス路線について、利便性の向上だけでなく効率性や採算性等の観点からも見直しに努める必要があるなど、人口減少により地域交通を取り巻く環境が厳しくなる中で、持続可能な地域公共交通を実現することは喫緊の課題であること。

3 当面のスケジュール（案）

＜平成28年度＞	1月23日	第1回「富山県地域交通活性化推進会議」開催
＜平成29年度＞	8月頃	第2回「富山県地域交通活性化推進会議」開催
	12月頃	第3回「富山県地域交通活性化推進会議」開催
※この間、2つの小委員会を複数回開催		